

工事事故の発生要因と対策

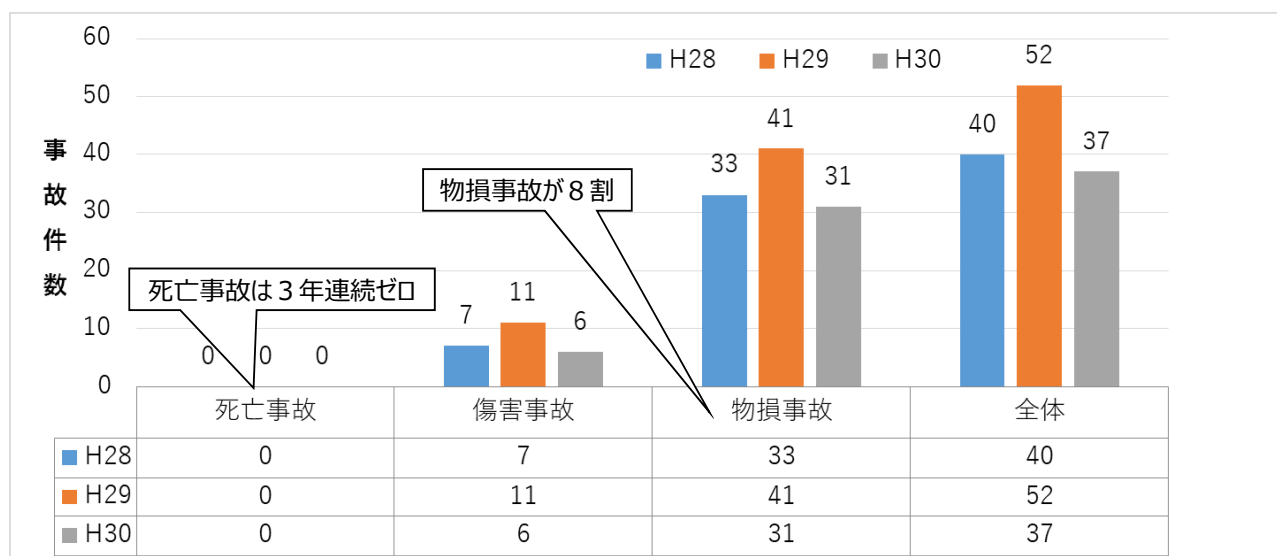
～工事事故ゼロを目指して～

交通基盤部 建設支援局



1

工事事故の状況



事故の状況

- 死亡事故は、3年連続で発生していない
- 埋設管や架空線の破損などの物損事故が8割を占める

2

物損事故の内訳

物損事故の内訳	埋設管の損傷	架空線の損傷	飛石・飛散による物損	工事車両移動時	工事車両作業時	その他	合計
H28	12	8	5	4	2	2	33
H29	12	3	6	9	3	8	41
H30	10	3	5	10	2	1	31

水道管を損傷



架空線を損傷



車両移動時に橋桁を損傷



車両作業時に橋桁を損傷



飛石が通行車両を損傷



3

事故の発生要因と対策

事故発生要因

- ①現場における工事着手前の事故リスクの想定が不十分
- ②死亡・傷害事故に比べ、物損事故に対する安全意識が低い
- ③地下埋設物等(水道引込管、通信線等)の情報(管理図)が不正確
- ④これまでの事故の教訓が、他の現場に活かされていない



対策

「工事事故防止行動計画」の策定

<現場の安全対策>

- ①現場の事故対策リストとハザードマップを作成し、現地に掲示
- ②安全パトロール（抜打ち）で、安全意識を徹底
- ③現地調査等による埋設位置情報の補完と試掘の徹底


<県全体の安全対策>

- ④ニュースレターと合同研修会による再発防止策の徹底

4


現場の安全対策①リストとハザードマップ

【挟まれ・巻き込まれ事故】
①・②・③・④




ハザードマップ（工事現場）

【墜落・転落事故】
⑤・⑥・⑦




【地下埋設物事故】
⑧



予想される事故対策リスト


位置番号	予想される事故	左記の安全対策	対策における留意点
①	旋回したバックホウと法面の間に挟まれる事故	旋回する重機の作業範囲内を立入禁止とする。視界が確保できない場合は誘導者を配置する。	重機にオペレーターが不在の時は鍵を抜く。
②	H鋼建て込み時、吊ったH鋼の間に挟まれる事故	玉掛け合図の徹底と明確な合図の実施。カイシャクロープの使用。	玉掛け合図者を指名。玉掛け合図統一
③	伐採木と立木の間に挟まれる事故	立木の樹高2倍の範囲を立入禁止とする。	伐倒前に、安全な避難場所確保

【架空線事故】
⑨




【第三者事故】
⑩・⑪・⑫


関係者以外
立入禁止



【交通事故】
⑬・⑭・⑮



【クレーン等転倒事故】
⑯・⑰・⑱



「事故対策リスト」と「ハザードマップ」を現場に掲示し、リスクを見える化
「事故対策リスト」と「ハザードマップ」は、工事の進捗に併せ随時更新

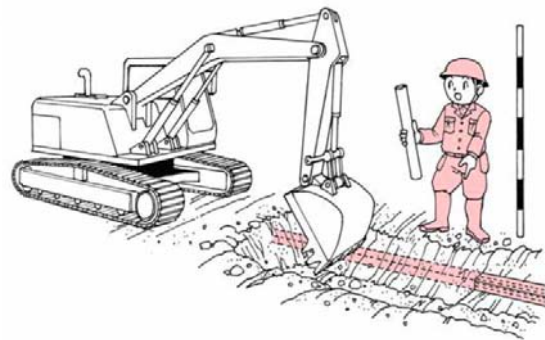
現場の安全対策②パトロール③地下埋設物対策

安全パトロール



地下埋設物対策

- ✓ 地下埋設物の管理図の確認（図面を過信しない）
- ✓ 住民等からの聞き取りや現地調査で、埋設位置情報を補完
- ✓ 試掘は、細心の注意のもとで行う（人力掘削が望ましい）



安全パトロール（特に抜打ち）で、事故防止対策を確認し安全意識を徹底
現場着手前の綿密な聞き取りや現地調査・試掘などにより、埋設位置情報を補完

県全体の安全対策④ニュースレターと合同研修会

ニュースレター



受・発注者合同研修会

(単位：人)

H30実績	東部会場	中部会場	西部会場	合計
発注者(県)	45	51	42	138
発注者(市町)	8	8	5	21
受注者	52	53	44	149
合計	105	112	91	308



ニュースレターの発行(月一回以上)による、事故事例と再発防止策の学習
 合同研修会による受・発注者の情報共有

7

事故対策PDCAにより工事事故ゼロへ

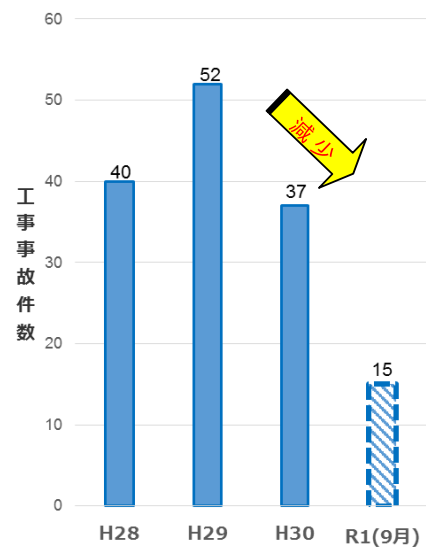
各工事現場のPDCA

- P**
 - 安全管理特記仕様書
 - 予想される事故対策リストとマップ作成
 - 現場に掲示
- D**
 - 施工計画に基づき、安全対策を実施
- C**
 - 安全パトロール**
 - 新たな災害リスクの有無を確認
- A**
 - 是正措置
 - 新たな災害リスクに対する追加対策

県全体のPDCA

- P**
 - 受・発注者合同研修会で情報共有
- D**
 - ニュースレターを発行し、ヒヤリハットや事例から安全対策を実施
- C**
 - 事故事例を分析し予測と対策の不備をニュースレターで周知
- A**
 - 分析結果を参考に、安全パトロールや行動計画を見直す

工事事故件数 (H28~R1)



- 各工事現場で得られた知見を県全体で共有し、事故防止の輪を広げていく
- 工事事故を撲滅し、3Kから新4K(給料、休暇、希望、きれい)へ

8